



**馬橋弁天
国道6号
歩道橋下**

いのち守れ！ 住民のみなさんと一緒に行政動かす **日本共産党**

信号と横断歩道 年度内 設置へ

現地調査で現状を訴える参加者（マイクで説明する山口市議）

り信号をつける予算が計上されました」との回答が県警より、みわ前県議にありました。

今月に入り県警に現状を確認したところ、「来年2月から3月に信号機等が完成するよう作業を進めている」とのことでした。

12時間の通行人調査を実施

地元の党支部は昨年11月、12時間の通行人調査を実施。歩道橋を利用した人は571人。高速で走行する車のスキを見て横断した人56人にもものぼりました。この危険な実態を関係機関に訴えてきました。



まつど民報

2014年9月号外 日本共産党松戸鎌ヶ谷地区委員会
松戸市千駄堀 1810-2 ☎ 349-1544

党・松戸鎌ヶ谷地区委員会の見解を紹介します。みなさんのご意見・ご感想をお寄せください。

A black and white photograph showing a group of about seven people in an indoor setting, possibly an office or a public hall. On the left, a man in a dark suit and tie is handing a white envelope or document to a woman in a light-colored blazer and dark skirt. The woman is smiling and looking at the document. Behind them, several other people are standing, some looking towards the camera and others looking down. On the far right, a woman is holding up a newspaper or magazine, showing its front page which features a large portrait of a person. The room has a modern interior with white walls and ceiling lights.

昨年7月、地域のみなさんといっしょに松戸東警察署に要請。強い薬でやっと体調を整えた方や、歩行が困難で皆に抱きかかえられた方が「とても歩道橋は渡れない」との訴えに、胸が締め付けられました。町会長さんも参加した「弁天歩道橋下に信号と横断歩道の設置を求める会」が立ち上がり署名の取り組みが開始されました。10月31日、私は町会のみなさんや党支部、みわ前県議といっしょに県知事と県警に要請。県警は「年内をメドに現地を確認する」と約束しました。

町会会員「会」を結成し、
改善署名を開始



信号と横断歩道が設置される馬橋弁天歩道橋

「足が悪くて渡れない」と住民から要望

と住民から要望

「昨年6月。ご高齢の方から「足が悪くて歩道橋が渡れない。駅や病院に行くのがつらい」との訴えが寄せられました。

階段が急でスロープもないため自転車もベビーカーも無理。ベビーカーを押した女性が、一瞬躊躇し、国道6号を横断していきました。

松戸市議会議員



みなさんとの
共同の成果です

馬橋のみなさん、こんにちは。202866筆の署名が寄せられるなど住民の方々と共産党との共同の力が行政を動かしました。信号機設置は数年かかると言われている中で、1年足らずで実現できたことは私にとっても貴重な経験となりました。これほどまでに多くの報告書を書いてきました。

いっしょにがんばります
前県議会議員
みわ由美